

2021年12月24日作成(2024年12月20日一部改訂)

義高 互

## ○人にある要素

人には様々な要素があります。沢山の要素があり、複数の要素が複雑に絡み合う場合もあります。

ADHDと自閉症は要支援で支援するケースがあります。ここでは課題を明確にしていくために、自閉的要素と多動的要素という二つの要素について分類して考えてみます。この二つの要素もASDという複雑に混合する場合もあります。二つの要素を独立させて考えた場合、自閉と多動という要素は時に相反する対応が必要な時があります。

SACSという個性の価値判断の基準に当てはめてみます。この要素が特徴的に出ているケースを挙げてみます。

自閉的要素は「こだわり」と「他者との共感性」に課題があることがわかります。多動的要素は「落ち着き」に課題があることがわかります。

自閉的要素は単独でじっくり自分のペースで活動することが好ましいです。多動的要素は人とのかかわる動きのある活動が好ましいです。自閉は計画的に行う静的活動が良いですし、多動は柔軟で変化がある動的活動が良いです。この二つの両立は難しい事です。

例えば、自閉的要素の支援となる静的活動を行うとします。その時多動的要素の対応は低下します。逆に多動的要素の対応のために動的活動を行います。その時自閉的要素の対応は低下します。

## ○コップ一杯の水

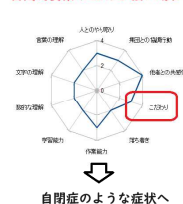
対応力をコップ一杯の水にたとえとします。水の量は劇的に増えることはありません。どちらかに傾ければ、一方が手薄な対応となります。教育界では頑張れば、必ず全てが上手く行く、というような神話が幅を利かせることがあります。しかし両極にあるこの要素に都合よく水を傾けることは困難です。

かつて、席を立てて座らない、騒がしく話したり歩いたりする、という多動的な子供の課題が目立っていました。それを受けてここ最近まで多動的要素に水を傾け、動的活動を増やしてきた傾向にあります。それは増加した行事や行事の準備期間が動的活動になっていることからもうかがえます。それは多動的要素の子どもの対応になってきたように思えます。しかし静かに物言わぬ自閉的要素が強い子供にとってはどうでしょうか。

授業を保護者が参観する場合、成果を学校外部に発信する場合、立ち歩く子供が課題と言われている場合、動的活動で多動傾向の要素に対応している姿は評価を得られてきたでしょう。

その動的活動を増加させてきたとしたら、自閉的要素がある子供がどうなってくるのでしょうか。自分のペースで個々に落ち着いて、静か

自閉的要素（こだわり）が強い場合



自閉症のような症状へ

多動的要素（落ち着きなさ）が強い場合



ADHDのような症状へ

自閉症スペクトラム  
複数の要素が混在  
特定不能の広汎性発達障害などを含む

自閉に有効な行事活動



少

多動に有効な行事活動  
多・増

自閉的要素と多動的要素のイメージ図  
総量の増えない一杯の水

自閉的要素の子供（自閉症を含む）

- ・見通しがつかず予定の変更が難しい
- ・人との交流やかかわりが難しい
- ・指示が苦手

単独でじっくり考える静的活動  
言葉より文字の表出が多い  
見通しができたら変更させない  
計画的に行う 静的活動

多動的要素の子供（ADHDを含む）

- ・じっと落ち着いていられない
- ・勝手なお喋りが多い
- ・関心事以外のルールが守れず忘れ物多い

人と動的に関わる動的活動  
積極的に発言し大まかな言動を許容する  
動きが多い活動  
柔軟で変化がある動的活動

自閉的要素と多動的要素のイメージ図  
総量の増えない一杯の水

自閉的要素の子供（自閉症を含む）

単独でじっくり考える静的活動  
言葉より文字の表出が多い  
見通しができたら変更させない  
計画的に行う 静的活動

多動的要素の子供（ADHDを含む）

人と動的に関わる動的活動  
積極的に発言し大まかな言動を許容する  
動きが多い活動  
柔軟で変化がある動的活動

自閉の対応になれば多動的対応は低下



自閉的要素と多動的要素のイメージ図  
総量の増えない一杯の水

自閉的要素の子供（自閉症を含む）

単独でじっくり考える静的活動  
言葉より文字の表出が多い  
見通しができたら変更させない  
計画的に行う 静的活動

多動的要素の子供（ADHDを含む）

人と動的に関わる動的活動  
積極的に発言し大まかな言動を許容する  
動きが多い活動  
柔軟で変化がある動的活動



多動的対応になれば自閉の対応は低下



に自分の計画性をもって活動する子どもはようになってくるでしょうか。不登校傾向を増加させてきている現状を考えてみてはどうでしょうか。

通常学級だけで学習していない子供達

不登校+特支学校+特支学級+通級学級

1889年

約1%

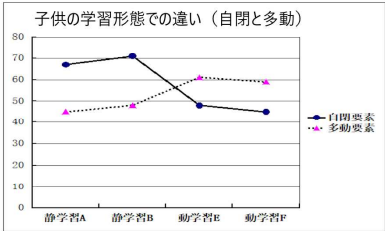


2022年

約12%



なぜ、大勢の子供が教室に入れなくなったか？



自閉要素... 静学習 > 動学習 動学習はストレスに  
多動要素... 静学習 < 動学習 静学習はストレスに

END